学校番号	3017

令和８年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	使用しているすべての教科書						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は、皆さんが２年間学んできた知識・技能を組み合わせ、創造性を生かし実際にものづくりなどに取り組むものです。
ファッション班、染色班などに班分けをします。班分け後、まずは、次の項目について作業をしてください。
① 各班に分かれ、テーマや目標を決めます。
② 目標を達成するための課題や手段を書き出します。
③ １年間の計画を立て、「計画書」を作成します。また役割分担を決めます。
部品の加工や、プログラム作成などで、実習では学んでいない加工方法や、装置、ソフトの使用が必要になる場合があります。より深く技術や知識を伸ばすことができますので積極的に取り組んでください。年度末には全ての３年生が参加する成果発表会を開催します。
なお、年間計画をたてる際には必ず、検証し、問題点や課題を見つけ、それを改善・改良し最終確認を行なう時間を設けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
これまでに学習してきた工業に関する知識・技術を基本に、設定した課題に関すること、または新領域についての知識・技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
設定した課題のよりよい解決方法を導き、そのプロセスを適切に計画することができる。また、年間の計画と到達点までの取組みを論理的に整理し、その成果を正しく発信する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
設定した課題に対して、よりよい解決方法や成果を実現するため、自主的かつ協働的に試行錯誤を繰り返し、粘り強く創造的、探究的に取組みを実践する姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	産業界の発展と環境との調和や現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察ができている。また、創造性を生かしたものづくり関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、協調や話し合いの進め方を身につけている。	目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探求的・創造的な能力を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

年間	単元の分類なし	1. オリエンテーション テーマ説明と班分け 2. 目標の設定 テーマに応じて、目標(スペック)の設定、協議 3. 課題抽出のための調査 テーマについての情報収集と課題の抽出、協議 4. 計画 年間計画作成 中期計画作成 5. 研究作業 加工・組立・プログラミング等の作業 6. 検証(改善および改良) 目標(スペック)達成度の確認 改善必要項目の抽出、協議 7. 改善計画 短期計画作成 8. 改善研究作業 改善作業 9. 検証 目標(スペック)達成度の確認 10. 課題研究発表 資料作成と発表	a: 産業界の発展と環境との調和や現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察ができている。また、創造性を生かしたものづくりに関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、協調や話し合いの進め方を身につけている。 b: 目的を理解し、ものづくりに関する諸問題の適切な解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。 c: テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探求的・創造的な能力を養おうとしている。	課題解決のための手法の学習 課題解決のための手法の習得 レポート	作品等の表現力 プレゼンテーションの表現力 レポート	取り組み状況の観察(自主性・協働性) レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度